

看護過程論

単位数（時間数）：1 単位（30 時間） 必修/選択：必修 履修年次：2 年次 開講時期：前期

科目責任者（職位・氏名）：教授：土田幸子

科目担当者（職位・氏名）：助教・野中みつ子、助教・山田英子

対応DP：基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢
看護の基礎的・専門的知識・技術 社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽

科目記号：51

■ 授業概要

科学的な思考過程をもとに、看護実践を支える思考の方法としての看護過程の重要性と、看護過程の構成要素であるアセスメント、看護問題の抽出、計画立案、実践、評価の内容と展開方法を教授する。そして、紙上事例を用いて看護過程を展開する基礎的能力を修得できるようグループワークを中心にし、グループ全体および個別的指導を行う。

■ 到達目標

1. 看護における看護過程の意義を説明できる。
2. 看護過程の構成要素とその内容を説明できる。
3. 紙上事例による演習を通して、看護過程を展開する構成要素を理解し、展開することができる。
4. 講義・演習を通して、クリティカルシンキング、論理的思考を身につけることができる。
5. グループ力の向上にむけたグループのあり方、自己の責任について考え行動できる。

■ 教育内容

基礎看護学

■ キーワード

看護過程、問題解決法、クリティカルシンキング、論理的思考

■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

回	授業項目	授業内容・授業方法	担当
1	ガイダンス 看護過程の基礎知識①	本科目の目的・目標、学習内容・方法、履修上の留意事項 看護過程の定義、意義、看護過程の変遷、問題解決法、クリティカルシンキング (講義)	土田
2	看護過程の基礎知識②	看護過程の構成要素 看護過程と理論の関連 情報収集・整理、分析に必要な知識 (講義)	土田
3	看護過程の展開① アセスメント	アセスメントの過程について 情報収集とデータ分析、関連図、アセスメントの統合、看護問題の明確化 (講義)	共同
4	事例展開①	情報収集と情報の整理 (グループワーク：個人ワーク・討議)	共同
5	事例展開②	情報の整理と分析、関連図、アセスメントの統合、看護問題の明確化 (グループワーク：個人ワーク・討議)	共同
6	事例展開③	明確化された看護問題を、関連図、アセスメントの統合をもとに発表 (発表、全体討議)	共同
7			
8	看護過程の展開②	看護計画の立案 看護目標の設定（期待される成果） 看護計画の立案（Op, Tp, Ep） (講義)	土田
9	事例展開④	看護目標の設定、看護計画の立案 (グループワーク：個人ワーク・討議)	共同
10	事例展開⑤		
11	事例展開⑥		

12	事例展開⑥ 看護計画の立案、実施、評価	全体発表会 紙上事例患者が抱える「看護問題」を解決するための看護計画について発表し、全体で討議・共有する。 (発表、全体討議)	共同
13			
14	看護過程の展開④	看護過程の評価、看護診断の解説 (講義)	土田
15	まとめ	全体のまとめ 看護実践における看護過程の重要性と限界 (講義、グループワーク)	土田

■ 履修条件

特になし

■ 成績評価方法

グループワーク（50％）と課題（50％）を総合して内容の目標到達状況により評価する。

グループワーク：貢献度、討論への参加度、グループワークに参加するための準備状況（自己学習）発表資料の内容、発表態度等により評価する。

課題：事例展開に関する記録類を評価表に基づいて評価する、記録類の提出状況

■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

各回のグループワークは、各自の自己学習での学びを深めるためのものである。各自の課題達成のために展開されるため、グループでの学習状況をもとに、担当教員から助言がある。

したがって、事例を用いた看護過程の展開の成果は記録類に記載されたものとなり、それを担当教員が評価表に基づいて評価する、評価基準に満たない場合は、再提出を求める。

■ 教科書

- ・『デジタル ナーシング・グラフィカ』メディカ出版
 - 基礎看護学 ① 看護学概論
 - 基礎看護学 ② 基礎看護技術Ⅰ
 - 基礎看護学 ③ 基礎看護技術Ⅱ
- ・高木永子監修（2018）「看護過程に沿った対象看護 第5版」学研

■ 参考書・参考資料等

授業中に別途紹介する

■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

- ・授業前：教科書の該当部分を読み、内容をノートに要約する。（30分）
事例の展開で不明な点はグループメンバーや担当教員に確認し、自己学習をすすめる。（30分）
- ・授業後：授業での発表やグループ学習で、内容が理解できているかどうかを確認する。（30分）

■ 担当教員からのメッセージ

看護過程は看護実践の基本となる重要な方法論です。看護の専門科目だけではなく、基礎科目、専門基礎科目すべての既習の知識が必要となりますので、それらを復習・整理して授業に臨んでください。また、本科目は協同学習がとして展開しますが、個人学習が前提となり、個人の理解を深めるためのものです。各自責任をもって参加してください。

■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

研究室 11 tsuchida★iwate-uhms.ac.jp、特に定めませんが、事前に連絡して訪問してください。また、グループの担当教員が適宜質問等に応じます。授業時間外の質問はメールにて教員の予定を確認してから訪問してください。各担当教員にて提示します。

(※メールの際は★を@にしてください)

■ 担当教員の実務経験の有無

有

■ 担当教員の实務経験

看護師

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

無

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

■ 実務経験を活かした教育内容

看護師としての臨床経験を活かし、エビデンスに基づき、看護実践と理論を結びつけて行います。